

第6学年1組 学級活動(2)学習指導案

令和5年11月10日(金)
指導者 T1 梶原 大史
T2 儀間 由里香
児童数 17名
場 所 6年生教室

1 題材名 自分らしさを大切に～自分らしさやちがいについて考えよう～

2 題材について

(1) 児童の実態

本学級の児童は、グループでの話し合い活動の中では、男女にかかわらず話し合うことができている児童が多くいる。その一方で、図画工作の学習で友達の作品を見て作品の感想を交流する際に、男子は男子にしかコメントを書いていないことがあったり、行事の準備で荷物を運ぶときには、「男子が重たい荷物を運ばないといけないんだよ。」という女子の発言があったりすることもあった。思春期によるものもあると思われるが、男子はこうあるべき、女子はこうあるべきだという意識や男女が仲良くすることをどう思われるか気にしている様子が見られる。

(2) 題材設定の理由

最上級生になり、委員会活動やクラブ活動をはじめ、さまざまな学校行事でも中心的な役割を担い、リーダーとして活躍する場が多い。その中で、男女を理由に偏った関わり方をしたり、仕事の割り振りや行い方をしたりすることがあってはいけない。男だから、女だからではなく、相手を人として大切にできる人になってほしい。このことは今後の生活においても大切な考え方である。本題材は、そのことについて考えるのに適した題材である。

(3) 指導にあたって

はじめに、「女らしく・男らしく・自分らしく」ということについて学習を行う。社会で求められてきた「女らしさ・男らしさ」についての質問に答えて点数化してグラフに表し、自分たちがどのような傾向にあるのかを考えさせる。そして、各質問項目について、「何が好きか」「どんな行動をとるか」などということはその人の個性であって「男らしさ」や「女らしさ」を表すものではないことに気づかせる。そのことを通して、相手にそれらの「女らしさ・男らしさ」を求めてはいけないことや、こうあるべきだという考え方ではなく、自分はどうありたいのかという「自分らしさ」を大切に作る姿勢を育てていきたい。

次に、日常における具体的な場面を提示し、考えを交流させる。自分の考えが「あってはいけない」、「あってもよい」、または「どちらともいえない」のどれに近いかを選び、なぜそう思うのかをまとめさせる。その後、グループや全体で話し合うことを通して、ジェンダーバイアスにとらわれない見方を育てていきたい。また、「あってはいけない」場面があったとき、どのように行動すると良いのかについて考えさせる。実際にその場面でどのように行動すると良いかを考えておくことで、これからの生活場面でも「自分らしさ」を大切にし、自分と関わる人を1人の人間として大切にする意識を持たせたい。

3 人権教育上のねらい (普遍的な人権課題【公平・公正】)

本題材を通して、人権の視点からジェンダーバイアスにとらわれた言動や、ジェンダー役割を強要することは、「考えや信じることの自由が守られ、自分らしく育つことができる」「自由に意見を表したり、集まってグループをつくったり、自由な活動をおこなったりできる」権利を奪う人権侵害であるため、一人ひとりが「女らしく・男らしく」という考え方ではなく、「自分らしく」いることの大切さを理解できるようにし、相手を1人の人として大切にしようとする態度を育みたい。

4 人権教育上の視点

- ・ 男性はこうあるべき、女性はこうあるべきという社会的な固定観念に捉われず、一人ひとりの自分らしさの違いを考えることができる。【知識的側面】
- ・ 自分や他の人の考えを認め、尊重し、これからの学校生活に生かそうとしている。【技能的側面】

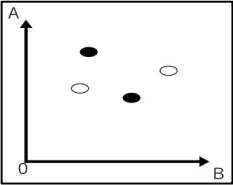
5 学級活動「(2) 日常の生活や学習への適応と自己成長及び健康安全」の評価基準

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
自分らしい生き方を実現するために必要となることについて理解し、知識や行動の仕方を身につけている。	自分らしさについて考え、自分と他の人との考え方の違いを肯定的にとらえることができる。	人によって違う多様な自分らしさを認め合い、よりよい人間関係を築こうとしている。

6 事前の指導

児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿・評価方法 【観点】
<ul style="list-style-type: none"> ・ 題材を知る。 ・ アンケートの記入をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 題材について関心を高められるよう、事前に取り扱う題材を伝える。 ・ アンケートの結果を集計し、グラフにすることで、児童がクラス全体の傾向を把握することができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 題材についての関心を高め、今後の生活場面での自分の行動について考えることができている。【態度】

7 題材の指導計画（全2時間 2 / 2） ◎人権教育上の配慮

時	課程	学習目標 (■)、学習活動	T 1 指導上の留意点 (・)と評価 (■)	T 2 指導上の留意点
1	つかむ	<p>■ 日本社会で求められてきた「女らしさ・男らしさ」と自分を照らし合わせ、自分らしく生きることの大切さに気付く。</p> <p>1 「〇〇らしくする」という言葉について考え、めあてを立てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当てはまる言葉を考えさせ、自分ほどの「〇〇らしく」が良いかを考えさせることを通して、「自分らしく生きる」ことに注目させる。 	
「自分らしさ」について考えよう。				
	さぐる	<p>2 「自分らしさチェックA、B」について振り返る。</p> <p>3 グラフを見て、気づいたことを出し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前に「自分らしさチェック」のアンケートをとっておく。指導者が回答するのを見ながら、どんな質問項目があったかを振り返らせる。 ・ AとBがそれぞれ社会で求められてきた「女らしさ・男らしさ」の項目であることを明かす。 ◎ 始めに指導者の回答のみを得点化してグラフに表すことで、グラフの見方を説明する。その後児童の回答をグラフで示す。 	
	見つける	<p>一人→グループ→全体</p>  <p>女子と男子で色分けをしておく。</p> <p>4 A・Bのチェック項目について話し合う。</p> <p>5 職業について考える。</p>	<p>予想される児童の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Aが高い男子、Bが高い女子もいる ・ ばらばらに広がっている ・ Aが一番高い（低い）人は、○点 ・ Bが一番高い（低い）人は、○点 <ul style="list-style-type: none"> ・ 一人で考えるときには、ワークシートにグラフを載せ、気づいたことを記入させる。 ◎ 全体で発表するときに見やすくするように、グループで話し合ったことは、タブレット端末でまとめさせる。 ・ 自分がどんな回答をしたかではなく、クラス全体の傾向について考えさせることで、さまざまな「自分らしさ」があることに気づかせる。 ■ グラフからクラス全体の傾向について、一人ひとりの自分らしさの違いを考えることができる。(観察・ワークシート)【知識】 ・ 「自分らしさチェック」の項目について、社会が求める「女らしさ・男らしさ」と自分たちを比べ、一人ひとり違うことを確かめる。 ・ 職業に対する性別のイメージを取り上げ、これらのイメージも変わってきていることを伝える。そこから、社会が求める「らしさ」にこだわらず、自 	

	決める	6 ぶりかえりをす る。	分らしさを大切にすることで、自由な 生き方や職業選択ができるように なることを知らせる。 ・ 本時の感想を自由に書かせる。	
2 本時	つかむ	■ 日常における具体的な場面で「あってもよい」「あつ てはいけない」について判断し、解決方法や対処法な どを考えることができる。 1 前時をぶりかえ る。 2 日常における具 体的な場면을提 示する。	・ 前時で学習したことや、ぶりかえり で書いたことから「女らしさ・男らし さ・自分らしさ」について思い出さ せる。 ・ 自分らしさを大切にするという視点 を伝え、日常で起こりうる具体的な場 面について、自分の考えをもち、行動 に移せるようになることを確かめる。	
		運動会の応援リーダーを 5 人 決めることになった。男子も女 子も 5 人ずつ「やりたい」とき を挙げた。「男子の方が大き な声を出せるだろう」という で、男子 5 人に決められた。		
あってもよいだろうか？あつてはいけないだろうか？				
	さぐる	3 日常における具 体的な場面につ いて考える。	・ 日常生活の中で起こりうる具体的な 場면을提示し、「あってもよい」「あつ てはいけない」または、「どちらともい ええない」について考えさせる。また、 なぜそう判断したのか理由も書か せる。	・ 机間指導を 行い、悩んで いる児童の話 を聞きながら、 考えをまとめる 支援を行う。
	見つける	4 考えを交流す る。	・ グループで一人ずつ意見を出し合 い、出た意見をタブレット端末で記録 してまとめる。 ◎ 全体で交流する際は、話し合いの中 でどんな意見が出たか、多数の意見の みではなく、多角的に見ることができ るように、個人の意見も出させるよ うにする。	
		一人→グループ→全体		
	決める	5 どのようにした らよいか考える。 6 ぶりかえりをす る。	・ どのように変えるか、対処するかな ど自分ができそうな対応の仕方を考 えさせることで、実践する意識をも てるようにする。 ・ 本時の学習で学んだこと、これか らの生活に生かしていきたいことな どを書かせる。 ■ 自分や他の人の考えを認め、尊重 ことができ、これからの学校生活に 生かそうとしている。(観察・ワーク シート)【技能】	・ 授業全体の 気付きや感想、 先生の考えを 伝える。

8. 事後の指導

- ・ 授業で学習したことを意識して生活することができているか、毎日の振り返りシートに項目を設け、振り返ることができるようにする。
- ・ よい考えや良い行いを、全体で共有し、掲示するようにする。